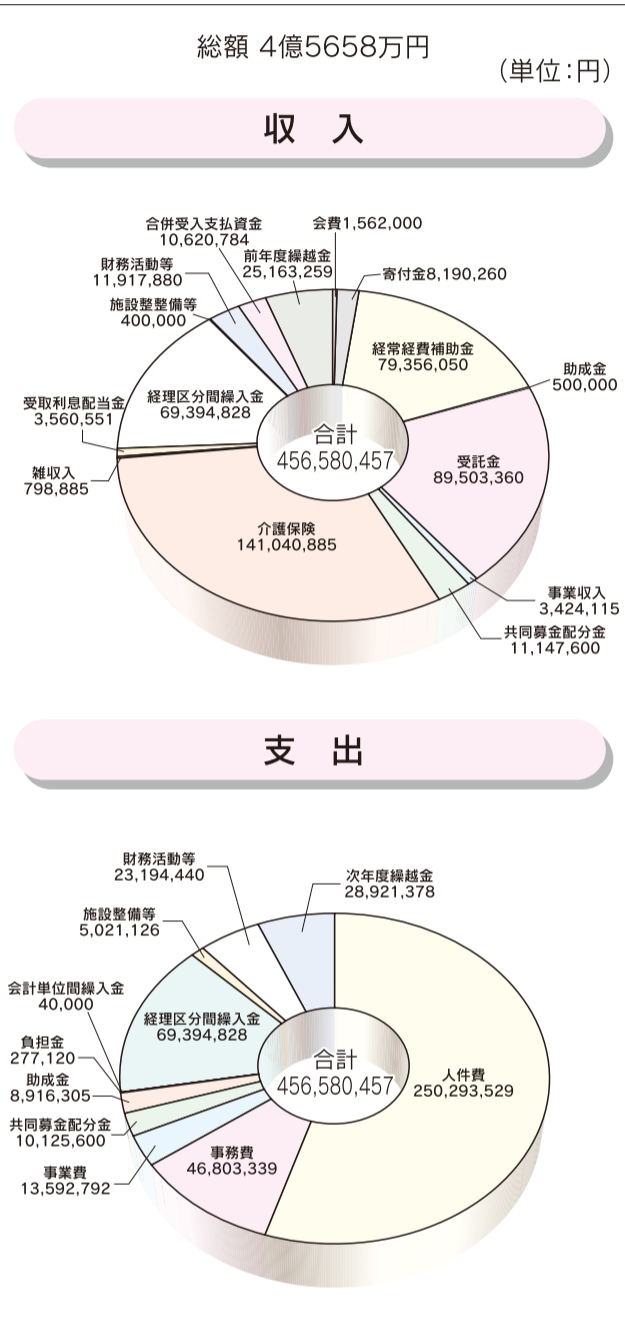


平成16年度決算報告

社会福祉協議会は、市などの補助金・委託金をはじめ、共同募金配分金、介護保険事業費のほか、香典返しなどの寄付金で運営しています。

これらの財源を地域福祉活動や福祉教育活動、ボランティア活動などに有効に活用し、市民のみさんの福祉向上を目的にした活動を行っています。

平成16年度の決算状況は下記のとおりです。



△ブックトークボランティア「本の楽しさおとどけ便」主宰の松尾さん

6月27日、メイトム宗像で「本の楽しさ届けたい」と題した講演会を開催しました。地域福祉文庫と社協が協力して開いたもので、参加者は80人を超えました。

講師の松尾有子さんは「図書館や文庫から本を定期的に借りて、読もうと読むまいと家に置いておき、返却時にまた別の本を借りて家に置くことを繰り返すと、いつの間にか子どもが手にとり読む。また、本の内容を簡単に紹介する(ブックトーク)という方法もある」と、読書離れの子どもにどう触れ合ったら良いかを話されました。

また、ストーリーテリング(本を使わずに物語を語る)とブックトークで楽しい本の世界を紹介し、お父さんお母さんや大人の私たちにも改めて本に触れることの大切さを話されました。

人は、時には一冊の本と出会うことによって、大きな影響を受けることがあります。特に子どもの時にいろいろ

子どもと本との出会いは大切



△ブックトークにグイグイ引きこまれる参加者 ステキな笑顔です!

社協だより

99号

平成17年8月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

子ども読書離れが心配されている昨今、たくさんの子どもに本の素晴らしさを気づいてほしいものです。

あなたも日常の忙しさを忘れてゆつくり本を読んでみませんか。

(2) 住民自治活動としての地域福祉の推進

地域福祉活動は、各地区で展開されている福祉会の活動からわかるように、住民自治活動(福祉分野における住民の自主的な活動)として、地域の特性に合わせ、地域の人々の創意工夫で推進されています。

(3) 共生のための福祉教育の推進

福祉教育については、第1次計画策定以後、主に小・中学校における体験学習と、障害者などの当事者との交流活動を推進してきました。

(1) 市民とともに創造する福祉の里プラン(2)

前回(6月1日号)に引き続き、第2次計画を紹介いたします。今回は、7つの柱のうち「2 住民自治活動としての地域福祉の推進」と「3 共生のための福祉教育の推進」です。

社協では、今後NPO法人との連携強化も含め、福祉会活動や幅広い分野でのボランティア活動など、住民自治活動としての地域福祉活動への支援強化を行います。

大きな役割を担っています。社協では、今後NPO法人との連携強化も含め、福祉会活動や幅広い分野でのボランティア活動など、住民自治活動としての地域福祉活動への支援強化を行います。

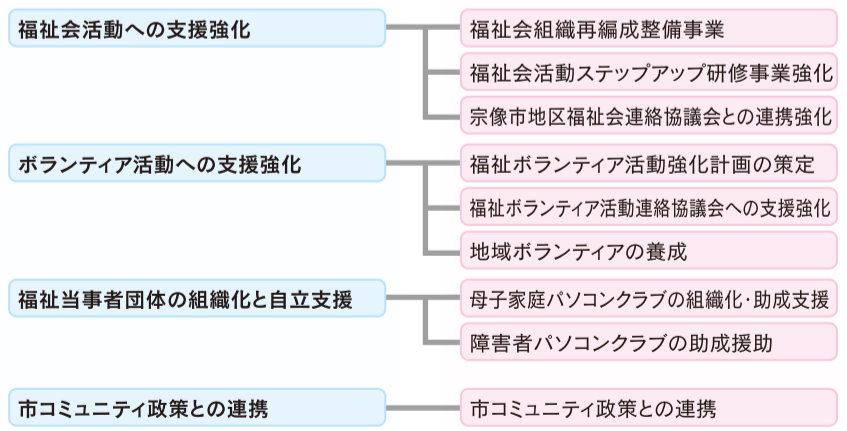
生きるためには何をすべきか」を学校教育の総合的な学習などの中で学ぶとともに、社会保障や社会福祉についての基本的な考え方を理解することが重要です。

一方、地域における福祉教育は、社会福祉法第4条において「地域住民が地域福祉の推進者」として規定されており、全市民を対象とした福祉教育の推進を図る必要があります。

地域福祉への理解と参加をもとめる学習の場、地域福祉活動へ参加するきっかけづくりを促進する場としての福祉教育を新たに展開します。

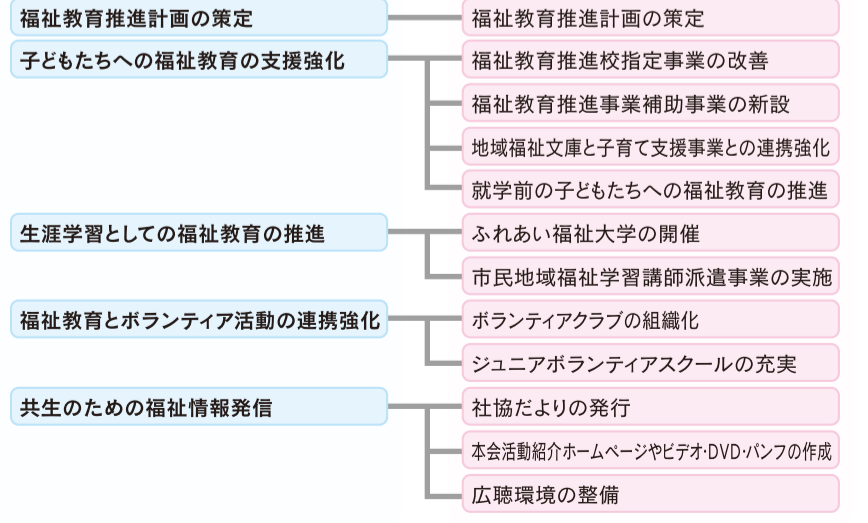
基本構想 住民自治活動としての地域福祉の推進

基本計画 実施計画



基本構想 共生のための福祉教育の推進

基本計画 実施計画



~もっと知って宗像市社協~

ホームページでは、社協の各部署や事業を紹介しています。また広報紙「社協だより」のバックナンバーや第2次地域福祉活動計画の閲覧、宗像市ボランティアネットワークシステム「V-netむなかた」へ簡単につなぐこともできます。ぜひ一度ご覧ください。

ホームページも見てね



ホームページアドレスは、<http://syakyo.munakata.com/>です。

福祉社会活動紹介

都城市社協から学ぶ 住民参画による計画の策定

6月30日、市地区福祉会連絡協議会(齋藤寛一 理事長)が「地区別地域福祉活動計画」の研修のため、宮崎県都城市中郷地区社会福祉協議会(上野貞道会長)に行きました。

同市では、市民と市・社協が協働して、11中学校区ごとに計画策定委員会を設置。各校区の住民が中心となり、校区で取り組む10年間の福祉目標や新たに取り組む事業などを計画にまとめています。

同地区では、各団体の代表者だけでなく、小・中学校の生徒も策定委員として参加しました。

子どもから高齢者まで、地域に住むみんなが一緒になって、自分たちの地域で自慢できることや、地域で取り組まなければならないことなどについて話し合い考えた、まさに

大島らしく、笑顔と元気がいっぱい

大島地区生きがい活動支援通所事業

人口約900人、高齢化率37・8%で高齢者の多い大島地区では、60歳以上の人に、介護予防や閉じこもり防止を目的に、生きがい活動支援通所事業(通称ミニデイ)を実施しています。

会場は、大島地区福祉センター「ふれ愛センター」。健康管理・日常生活動作訓練・食事・趣味活動を行っています。

に住民参画による福祉の計画づくりでした。

今回の研修は、社協と同協議会の協働で、本市においても住民参画による地区ごとの福祉活動の計画策定をすすめるためのものでした。

市地区福祉会連絡協議会

協議会は、各地区の福祉会活動の促進と、市民参画型の地域福祉活動の充実を目的として平成9年に設立されました。

協議会は、市内13地区の福祉会長、事務局長などで構成されています。

主な活動は、各地区福祉会相互の情報交換や先進地視察研修です。



研修のお礼を述べる齋藤会長(右端)

障害があっても働きたい!

～障害者職場体験実習事業～



△図書館の本の整理

障害者生活支援センターでは身体・知的・精神障害者を対象に一人3日間の職場体験実習を実施しています。

今まで仕事をすることがない人に、まずは職場体験してもらおうことや、自分に合った職種を見つけてもらうこと、また、事業所へ障害に関する理解を深めてもらうことを目的としています。

この実習では通勤・仕事・昼休みの職員間コミュニケーションなどを体験します。実習支援員がサポートするので

職種には花束加工・新聞の折込み・自動車整備・味噌作り・客室チェック・学校現場での事務・ゲーテニング・清掃・図書館の本の整理などがあり、実習の受け入れ先はすべて宗像市内の事業所です。

事業所のひとつである日本赤十字九州国際看護大学・喜多悦子学長は「この事業は学生にとつて、障害があっても働けるということを知る良い機会だと思えます。また、障害のある人の積極的な社会参加につながる良いですね」と話しています。ほかの事業所からも「お互いにとつて良い機会」との声が聞かれました。

当センターではこの体験に参加者の就業に活かされるよう応援していきます。



元気いっぱいわきあいあい!

目 毎週火・金曜日
午前10時～午後3時
料 1回700円(送迎代込み)
問 宗像市社会福祉協議会大島支所 ☎(72) 2294

ボランティアセンター通信

ともに考え、行動する
「ヤングボラ」開講しました

7月16・17日、メイトム宗像と大島地区でヤングボランティアスクールを行いました。12人が受講し、障害がある人との共同作業を通して、ともに生きる力を育み、相互理解を深め「相手にどう関わっていきけるか」という考えをまとめました。

まず初日に「ボランティアって、なんだろう」をテーマに各自の「ボランティア」の意見交換をしました。

受講者一人ひとりの意見を理解することで、今まで以上にボランティアへの考え方にいろいろな見方ができるようになりました。

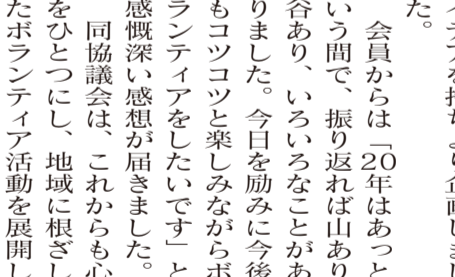
2日目は「大島地区」を舞台に現地調査(フィールドワーク)をしました。障害がある人といっしょに、大島の魅力を探り、地図作りを通して、受講者は自分自身の人との関わり方を考えました。

フィールドワークのコースには、まだまだバリアフリー化されていない場所も数多くあります。その中で前日に学んだ介助の方法を実践する受講者と、コースの問題点を的確に分かりやすく伝えようとして協力が、ともに協力して調査しました。

手作りの、世界にたったひとつの地図を目の前にした障害者と受講者は達成感でいっぱいでした。共同作業を通してお互いをより深く理解したのではないのでしょうか?

受講者から「今、自分がどのように人とつながっているか」としてははつきりしました。これから実践していくことと思います」と頼もしい決意が返ってきました。

同センター【午前8時30分～午後5時。土・日曜日、祝日は定休日】
☎(34) 2411
ファックス(34) 2412



誰でも利用しやすいかな?

宗像市ボランティア活動連絡協議会(藤井千賀子会長)の「20周年記念式典」が7月9日、メイトム宗像で行われました。

式典には、多くの来賓や市民、市外のボランティアなど155人が参加し、華やかな雰囲気の中で行われました。昭和60年、当初8団体が所属し活動を開始。平成15年に旧玄海町ボランティア連絡協

宗像市ボランティア活動連絡協議会(藤井千賀子会長)の「20周年記念式典」が7月9日、メイトム宗像で行われました。

式典には、多くの来賓や市民、市外のボランティアなど155人が参加し、華やかな雰囲気の中で行われました。昭和60年、当初8団体が所属し活動を開始。平成15年に旧玄海町ボランティア連絡協

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37) 1300
 玄海支所 宗像市神湊118番地の4 ゆうゆうがらぎ内 ☎(34) 6008
 大島支所 宗像市大島1800番地の32 ふれ愛センター内 ☎(72) 2294
 ホームページアドレス <http://syakyo.munakata.com/>

寄付 ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)

- 越智町子 (葉山)
- 亀川登美子 (富地原)
- 吉田安子 (村山田)
- (故) 乙藤チエ子 (泉ヶ丘)
- (故) 小田政光 (田熊)
- (故) 能美章 (日の里)
- 篠原輝夫 (池田)
- 荒木ツネ子 (鐘崎)
- 梶谷泰臣 (曲)
- (故) 三苦政一 (神湊)
- 矢富敦子 (自由ヶ丘)
- (故) 原みさゑ (吉留)
- (故) 森塚ヤスエ (鐘崎)
- 川上律子 (城西ヶ丘)
- (故) 宮本新一 (田熊)

【一般寄付】(敬称略)

- 加藤道代 (自由ヶ丘)
- 河辺三男 (大島)
- 尾園正路 (東郷)
- 吉武シツ子 (久原)
- 水島敏子 (城西ヶ丘)
- (故) 立花重夫 (徳重)
- (故) 和田廉平 (上八)
- 橋爪由紀 (泉ヶ丘)
- 篠原正敏 (田熊)
- 吉田秀雄 (須恵)
- 江頭春幸 (自由ヶ丘)
- 永田洋一郎 (大島)
- 福崎順子 (大島)
- 永島好幸 (神湊)
- 浅田好朗 (三郎丸)
- 山下芳範 (吉留)
- 中山鷹重 (神湊)
- (故) 川上忠美 (上八)

ボランティア相談 「おしゃべりサロン」 開催中

毎週水曜日に開いているボランティア相談日では、月1回「おしゃべりサロン」を実施中です。

アドバイザーといっしょにお話ししましょう!

8月10日(水)、9月21日(水) 午後1時～午後4時
場内同センター

相談日	活動分野	アドバイザー名
8/3	施設訪問	山之口 フジ子
10	朗読	西田 和子
17	朗読	野田 美子
24	朗読	黒田 千穂子
31	朗読	西田 和子
9/7	朗読	石津 朝子
14	朗読	西田 和子
21	朗読	野田 美子
28	施設訪問	山之口 フジ子

【8・9月の相談日】